

群馬県立前橋西高等学校 学校評価一覽表② (平成30年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	・習熟度別の履修形態(数学)に、生徒の80%以上が満足している。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 国際科の生徒4名が新前橋駅で行っていた目の不自由な方へのボランティアはよいことである。 入試改革でくくり募集とするようだが、2年次で学科を選択する際が大切ではないかと思う。学科の人数のバランスを考えて対応してもらいたい。 スピーチコンテストの優勝やフランスへの短期留学など前西ならではの特色をアピールしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学、英語、体育の習熟度別授業、少人数授業には高い評価を受けており、引き続き双方向的で細かい学習指導を展開してゆくとともに実態に応じた改善をはかっていく。 「強歩遠足」や「マラソン大会」では、これからもPTAの協力を仰ぎ、部活動や委員会活動を充実させ生徒が活躍する場面を増やす。 榛東村小、中学校と国際科生徒の英語学習の交流を継続させ、生徒の自己有用感を高め自信や夢を持てるように取り組む。
		・少人数制の授業形態(英語・体育)に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A		
		・「特色ある学校行事」に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A		
		・自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	B	B	B		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	・「授業が分かりやすい」と、生徒の70%以上が答えている。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 主体的対話的な深い学びの授業や総合的な学習の時間で探求型の活動を実践するとともに各学年での研究授業や校内研修会により指導力の向上をはかった。 授業アンケート(年2回)の結果を授業改善に生かすとともに、ICT機器を活用したわかりやすい授業を積極的に展開した。 課外授業への参加を促し、模擬試験を契機に生徒の学習意欲を喚起して、各教科で予習や復習の習慣化及び家庭学習時間の増すべく課題を課すなど工夫をおこなった。 検定受検者に対して、特別指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年を中心にすえた教科横断的な研究授業及び授業研究会を実施するとともに、一人ひとりの先生方が、授業アンケートをもとに授業改善を図っていく。 教室に整備されたWiFi環境を活用して、探求的な学習活動の充実を図るとともに、通常の授業でも主体的な学習の実現につなげていく。 家庭で学習に取り組むことの習慣化を図るために各教科で予習や課題の指示を明確に行い、特に休日の学習時間の増加がはかれるように工夫に努める。
		・進路実現に向けた学習指導に、生徒の70%以上が満足している。	B	A	A		
		・計画的に学習をしている生徒が70%以上である。	C	C	C		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	・学習内容の定着を図り、家庭での学習時間は「学年+1」時間以上である。	C	C	C		
・単位未修得者は生徒の5%以下である。		A	A	A			
・漢字検定2級合格者10名以上、英検2級合格者が10名以上である。		C	C	C			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	・生徒指導に関する校則を、生徒及び保護者の80%以上が理解し、納得した学校生活を送っている。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 集会や配布物を通じて、生徒指導方針の理解と内容の周知を図り、規範意識の育成を心がけた。また、生徒の定めた「前西スマホール」の周知や講演会などにより、SNS等の利用に関する生徒の意識の啓発に努めた。 いじめ対策については、未然防止及び早期対応が図れるよう、観察と情報収集を適宜実践した。いじめアンケート等を適宜実施し、教育相談係・スクールカウンセラーと連携して、情報を共有し職員の共通理解のもとで未然防止に努力した。 保護者の理解と協力の下、時間を守ることの大切さを指導するとともに、生徒自身による朝の挨拶運動を継続的に実施し、遅刻防止につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「前西スマホール」について生徒自身の手による見直しを行うとともに、SNSの利用を巡るトラブル、ネット犯罪やネット被害などを防ぐため、外部機関や保護者と連携しながら、効果的な指導をおこなう。 生活アンケート(いじめアンケート)結果を分析するとともに、スクールカウンセラーとの情報交換を密にして教育相談体制をさらに充実する。 時間を守るということの大切さを指導するため、保護者との連携・協力をさらに進める。 メンタル面で心配な生徒もおり、外部機関とも連携し教育相談活動の充実を図る。
		・いじめの発生防止に努め、早期対応を行い、いじめの解消率が100%である。	B	B	B		
		・部活動に、生徒の70%以上が積極的に取り組み、継続的に活動をしている。	A	A	A		
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	・欠席率、平均遅刻者数について、前年度(欠席率2%、遅刻者平均1日7人)以下とする。	A	A	A		
・健康に留意した規則正しい生活を、80%以上の生徒が送っている。		B	B	B			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	・年間指導計画に沿った指導により、進路意識を確立できた生徒が80%以上である。	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 大学見学や出張授業、早朝課外や夏期課外の内容を吟味し充実させた。土曜課外の実施形態と内容に一定の評価を得ているが、更に、学力向上対策への取組を実践していきたい。 担任による二者面談を計画的に実施し、進路意識の向上を図るとともにキャリア教育の観点を重視し、将来を見据えた学習やその他の活動に取り組む意識を持つよう指導に努めた。 進路通信を発行を通して、進路情報の提供を強化し、進路講演会と合わせてタイムリーな情報をわかりやすく保護者、生徒に伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果では1年生で目標を立てている人が増えている。積極的に頑張っていることがうかがえる。 保護者の関心は3年後の進路である。大学の指定校を見ている保護者も多いので指定校枠をアピールすることが必要ではないか。 A Iの進歩とかもあり、将来のキャリアプランやこれからの進路を考えるのが難しい時代。将来の不安を解消するために情報を幅広く集めていく必要がある。
		7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	B	B	B		
		8 適切な進路情報を提供していますか。	B	B	B		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	・ホームページの充実と更新に努め、年間40000ページビューを目標とする。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌等の協力を得て、ホームページの更新と内容の充実に向けた結果、ページ閲覧者数を大幅に伸ばすことができた。 行事の際には、案内の配布やホームページでの告知を行い保護者への周知を徹底した。また進路通信を発行して進路情報の提供や進路講演会の紹介など、保護者の関心を喚起する工夫を行った。 各種行事の参加の呼びかけを積極的に行うとともにその様子をホームページ等で積極的に伝えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの情報発信の成果といえるが、学校説明会の参加者が増えていることは前橋西高校に関心を持ってくれる生徒が結んでいるということなのでよいことだと思う。ホームページをツールとしてさらに活用してもらいたい。
		・PTA総会の出席率について、前年比1.0%の増加をはかる。	C	C	C		
		・その他各種学校行事(グリーンカーテン設置・撤去、強歩遠足、文化祭(黎明祭、マラソン大会)についてのPTA参加率は80%以上である。	B	B	B		
VI 安全管理に努めていますか。	10 施設設備の安全管理は、十分になされていますか。	・安全点検が日常的になされており、校内に危険な箇所、危険な物品等について90%以上が改善されている。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートに記述された危険箇所については、昨年より少なくなり、また当該箇所の危険性を速やかに解消するよう努めた。 交通ルールやマナーの遵守に関しては交通安全教室などを充実させ、交通事故防止を徹底させる指導を行った。 健康講話等は1年生中心に実施されているが、講話や講習会の内容を吟味し、生徒の実態を把握して更に充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室、生徒指導主事講話など、折に触れて、自転車事故防止の指導強化を図る。 日常の点検を重視し、改善が必要な場合には早急に検討、善処していく。また新入生には学校周辺の交通危険箇所マップを配布し、新入生の事故防止に努める。 保健委員、交通委員等の活動により、生徒自らが主体的に健康や安全管理を意識して生活できるように促す。
		11 生徒の安全指導・安全確保が十分になされていますか。	A	A	A		
		・健康安全に関する講話を80%以上の生徒が真剣に聴き、理解している。	B	A	A		

